

まち角の図書館

全国訪ねある記

市民編集委員から



こんにちは

佐世保市



池田のまち角の図書館

与那原町



今も続く伝統の回廊

小さなまち・池田から、翼を広げて全国に「まち角の図書館」が飛び立ちました。今号では私が九州・沖縄地方に根付いた3カ所の「まち角の図書館」を訪ねて取材したものを紹介します。「まち角の図書館」を通じてできた友好の輪により、本市の持つ文化的な素晴らしさとそれに携わる人の温かさを改めて知ることができました。

(市民編集委員・木村順子)

西都市



池田のまち角の図書館

お久しぶりです



沖縄県

与那原町



まず、最初に訪れたのが、はるか海を越えてまち角の図書館づくりの仲よし同盟を結んだ沖縄県の与那原町でした。締結以来18年ぶりに訪れた与那原には懐かしさもひとしお。当時、親交を深め合った「与那原のまち角に図書館をつくる会」の上洲安昌さんに取材を申し込み、お話を伺うことになりました。

池田の取り組みに触発されて

平成元年4月、池田のまち角の図書館1号館が、市役所前の池田駅前公園側のバス停に設置され、オープン式が行われました。テレビ番組でその様子が放映されていて、当時、与那原町の町役場の職員だった上洲さんがこの番組を見ていたそうです。そして「これだ」と直感。与那原町にも「まち角の図書館」を作ろうと思われました。



動きだした

与那原のまち角の図書館

上洲さんは、「与那原町で今何が必要か、どうすれば生き生きした町になれるか地域の皆さんに聞いたところ、図書館が欲しいという声が多く出ていたところでした。これなら与那原町にも図書館を作ることができると考え、私が代表で池田市へ見学に行き、初代会長の古家孝人さんにお話をお聞きしました」と当時の思い出を振り返られます。

そして、「池田まち角の図書館を参考に、住民らが半年がかりで設置。平成2年にはつい



まち角の図書館第1号館



「与那原のまち角に図書館をつくる会」の上洲さん（写真右）と設立当初からメンバーの渡名喜明さん（同左）

に、沖縄県初のまち角の図書館をオープンさせることができました。そして、4月のオープン式には、池田市から古家会長に出席いただきました。会長は、本の回収車に困っていることを知ると自動車の贈呈と、同盟の締結を提案してくださいました」と話されました。

まち角の図書館が結んだ

友好の輪



約束の自動車を贈呈するため、同年6月にはダイハツ工業(株)から2台の軽自動車を寄贈



まち角の図書館第2号館

していただき、同月23〜25日船便で与那原町へ。

私と古家会長ら関係者5人も同行し、車の贈呈式と、

「まち角の図書館づくりの仲よし同盟」の締結式に参列しました。その時は、

とても温かいおもてなしを受け、沖縄の守り神のシーサーを頂いたことが、昨日のことのように思い返されます。

「読む楽しさ・返すうれしさ」を忘れずに



18年経った今でも、現在のメンバーは昔のまま、会長も照屋義実さんと変わりありませんが、与那原公園には2号館ができていました。今でも「読む楽しさ、返すうれしさ」を合い言葉に活動されています。

「時間の空いている時は、ボランティアで、図書管理をしています。まち角の図書館ができたことで、学校でも本を読む習慣が普及しました。与那原の文化歴史を大切に活動を続けていきます。これからも交流をよろしく」と上洲さん

ジャズと三線がうまく調和した与那原町は、海を埋め立てて新しい町ができていましたが、人びとは昔と変わりなく、ス・テ・キなままでした。

